

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (沖縄)	良くなる	百貨店（営業企画）	・ 来月の営業時間の延長効果や1月、2月の新規雇用の導入、消費税増税前の駆け込み需要等が見込まれることから、3月までは売上の順調な推移を予測している。
	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・ 12月にはマラソン大会が開催され、それに合わせて、県外からも多数の参加者の来沖が予想される。マラソン終了後は、練習も無くなることから、県民も打ち上げ等で今よりも街へ繰り出すようになる。またクリスマスや年末へ向け、お金の流れも今よりも動き出すのではないかとみている。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・ 目抜き通りに、量販安売り店が新規開店した。観光客の多い通りに、地元の人もしは訪れる人が増加するとみる。年末のボーナス商戦で、イベントや仕事にも効果が出るのを期待している。
		旅行代理店（マネージャー） ゴルフ場（経営者）	・ 消費税が上がる前の駆け込み需要があるとみている。 ・ 現状では予約が好調で、今よりはもっと良くなるのではないかとみている。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・ 4月に控える消費税増税による影響が今のところ不明である。また、原材料の高騰などにより商品の仕様変更なども行う予定であり、その影響が未知数である。
		スーパー（企画担当）	・ 一部の店舗では、競合の影響で苦戦を強いられるが、他店舗ではモチベーション需要等で伸長し、全店計では前年並みで推移する見込みである。
		コンビニ（経営者）	・ まだ景気回復には至らず、節約を心がける人が多い。
		コンビニ（エリア担当）	・ 競合や異業種の出店が増えて個店の売上の減少はあるが、客単価は落ち着いているため、販売促進等で何とか客をつなげることを続けていかなければならない。欲しいものがあれば来てくれるので、商品力が今後を左右する。
		コンビニ（エリア担当）	・ 消費税増税による駆け込み需要とその反動は必ず起こると予測する。建設関連での遅れが及ぼす県内経済の動きを注視したい。
		衣料品専門店（経営者）	・ ここ数か月、単価、来客数、売上共に、前年からあまり変化が無い。景気が良くなっている実感はあまり無い。
観光型ホテル（マーケティング担当）		・ 現在の予約受注状況から予測できる今後2、3か月の稼働率は、今月と同様に前年同月実績を下回る見込みである。特に年明け以降の予約受注が鈍化している。	
通信会社（店長）		・ 発売された新商品には話題性と商品力があり、現在の状態をこのまま維持するのではないかと予想できる。	
観光名所（職員）		・ 尖閣問題が心配である。	
住宅販売会社（総務・企画分野）		・ 来年3月末引き渡しの建売棟の販売受注を見込むが、今後の住宅工事請負契約は増税後の税率になるため、今月と比べて変化は無いと考える。	
住宅販売会社（代表取締役）	・ 消費税増税前の駆け込み需要の反動はみられるものの、住宅建築に対するニーズは底固く、一定の受注は見込める。		
やや悪くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ 年末に向けて期待したいところであるが、数字の推移を見ている限り状況は厳しいとしかいえない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・ 特に小売店では単価の伸びが無く、なかでも衣料品等の売上は厳しい状況であり、観光客数はあっても消費単価が落ちている。数年先ではアベノミクスの影響も見込まれるが、それまでは大変厳しいとみている。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・ 消費税増税の精神的負担、中国の防空識別圏の問題による客足への影響から、月100万ほどの売上減少になりそうである。	
企業動向関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（代表者）	・ 公共工事が万遍無く出ている、各離島ともに需要増が期待できる。また生コンクリート業者、アスファルト業者による消費税増税前の在庫積み増しが予想される。
		会計事務所（所長）	・ 本土の経済に復調の兆しがある。沖縄にも観光の面で波及効果が期待できる。
	変わらない	食料品製造業（総務）	・ 現在進行している値上げ等の原材料上昇への対応が終了し、売上及び利益の回復を期待している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 年度末に向け、工事がやや増えると思われるが、建設業者の人手不足等の影響で工事着工の遅れの情報があり、あまり期待できない。
建設業（経営者）		・ 新築住宅の引き合い件数は減少気味である。リフォームは増加傾向にあるが、施工体制が追い付かない。	
輸送業（本社事業本部）	・ 取扱量の増減の要因は見当たらず、現状維持のまま取扱量は安定すると考える。		

		広告代理店（営業担当）	・民間企業の販促投資は、景気の先行きが不透明との判断から拡大する傾向にはない。加えて、一括交付金による短期的な受注量の拡大についても、県外企業の参入が活発化するなかで、競争が激化していることから厳しい状況が続く。
	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・本土の企業が求めているのは、ニアショアとして沖縄なので、本土側でのビジネス単価が下落すると、沖縄では更に安い単価を求められる。このような状況ではサービス残業等のコンプライアンス違反を前提とした受注が発生するおそれがある。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社（総務担当）	・求人情数の前年同月比が過去に無い高水準であり、増加が続いている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年末で就職率が上がる傾向があり、そのため企業も精力的に動けるようになる。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	・来年4月の消費税増税前の時期及び年末年始を控え、販売業の求人が増加してきている。消費税増税実施後の派遣ニーズへの影響が懸念されるが、年明けまでは今の良い状態が続くとみられる。
	やや悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・身の回りをみていると、様々なところで増税につながる法案が実施されようとしている。社会情勢を知れば知るほど不安になる。
	悪くなる	-	-